

集団への所属感や連帯感を生かして生活できる生徒の育成 ～活動の過程を可視化することを通して～

特別研修員 生徒指導・教育相談 剣持 敬藏（中学校教諭）

生徒の実態と課題

- ◆同じ小学校区の生徒同士のつながりが深いため、交友関係を広げようとする生徒が少ない。
- ◆行事を通して培った所属感や連帯感が日常の学校生活の中に生かし切れていない。

手立て

- ①話合いの過程が見えるワークシートの活用
- ②各活動の過程を振り返り、実践に生かすことのできる掲示物や学級通信の活用

目指す生徒像

集団への所属感や連帯感を生かして生活できる生徒

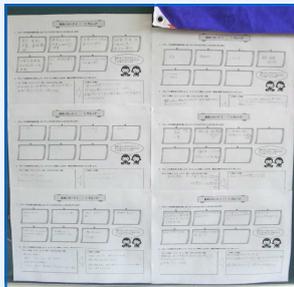
学級の一員として、自分の役割を考え実行してみよう！！

実践2：文化祭に向けての話合い活動 ～日常の取組の改善へ～



生徒による計画委員会が運営する学級会で、学級の表現をよくするための話合い活動を一人一人が意見を述べながら行い、みんなで取り組むことを決定する。

決まったこと（実践すること）だけでなく、どのような話合いがされたのかを掲示し、学級会に臨んだ仲間の思いを共有する。学級通信を発行することで更なる意識付けを行う。



仲間と協力しながら、学級をよりよくしていこう！！



実践を終えた後、仲間へのメッセージを伝え合い掲示することで、今後のよりよい学級づくりに生かしていく。

これからも学級の仲間と一緒によりよい学級にしていきたいな！

文化祭お疲れ様！みんなで協力してよい表現ができたね！！



実践1：宿泊体験学習の振り返り活動 ～行動目標の決定～

自分のよさや仲間のよさを基に、ワークシートを活用しながら行動目標となるキーワードを探っていく。

話合い活動が行われた後、すぐに行動目標となるキーワードを掲示し、学級の仲間が同じ目標をもって生活できるようにする。

行動目標の達成状況について、具体的にどんなよい姿が見られているのかを教室内の掲示物で振り返り共有する。

みんなのよいところから生まれた行動目標を大切に生活したいな！！

みんなや自分のよいところをこれからも見付けていきたいな！！

手立て②

クラスでこんなよいところが見られたよ！

毎日、みんなが笑顔で生活しているよ！

困っているとき、みんなが手伝ってくれたよ！

手立て①

振り返りカード (3) 班

- 1 班の仲間のよかったところを伝え合いながら、キーワードを探っていきます。

○責任感	○責任感	○笑顔	○笑顔
○真面目	○マナーを守る	○気配り	○積極的
○しっかりもの		○やさしい	○やさしい
- 2 班のキーワードを決めよう。どんな「表情」「言葉かけ」があるよいか？

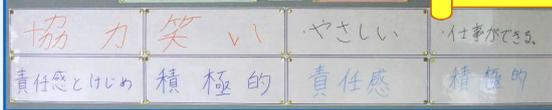
×責任感	けじめ	積極的
自分の係や委員会などで責任を担った経験がある。	まじめにやっています。	自分から行動したり、意見を言ったりしています。

仲間のよかったところをたくさん出し合おう！！

このキーワードにした理由

○責任感とけじめ	係の仕事が任される人が少なくなる。先生に注意されにくくなる。
○積極的	授業などで、たくさん意見が出る。

手立て②



【成果】

- ワークシートの活用は、話合いの過程を可視化することで、仲間の思いや考えを端的に捉えて意見をまとめることに有効に働いた。また、話合い活動を重ねることで、自身の思いや考えを意欲的に発信する様子や、相手の意見などを尊重しながら話し合う様子がより多く見られるようになった。
- 話合い活動で決まったことや仲間の思いや考えを掲示物や通信などを活用して可視化したことによって、互いの理解を深めたり、取組に一貫性をもたせたりすることができた。

【課題】

- ◆話合い活動を更に充実させ（生徒による計画委員会が企画・運営する学級会の継続など）学級の生活をよりよくしていくための取組の質を向上させていきたい。
- ◆今後も行事での経験が日常の学校生活の取組（授業や当番活動、委員会活動など）へとつなげられるよう、定期的な振り返り活動を継続させていきたい。